

物理談話会

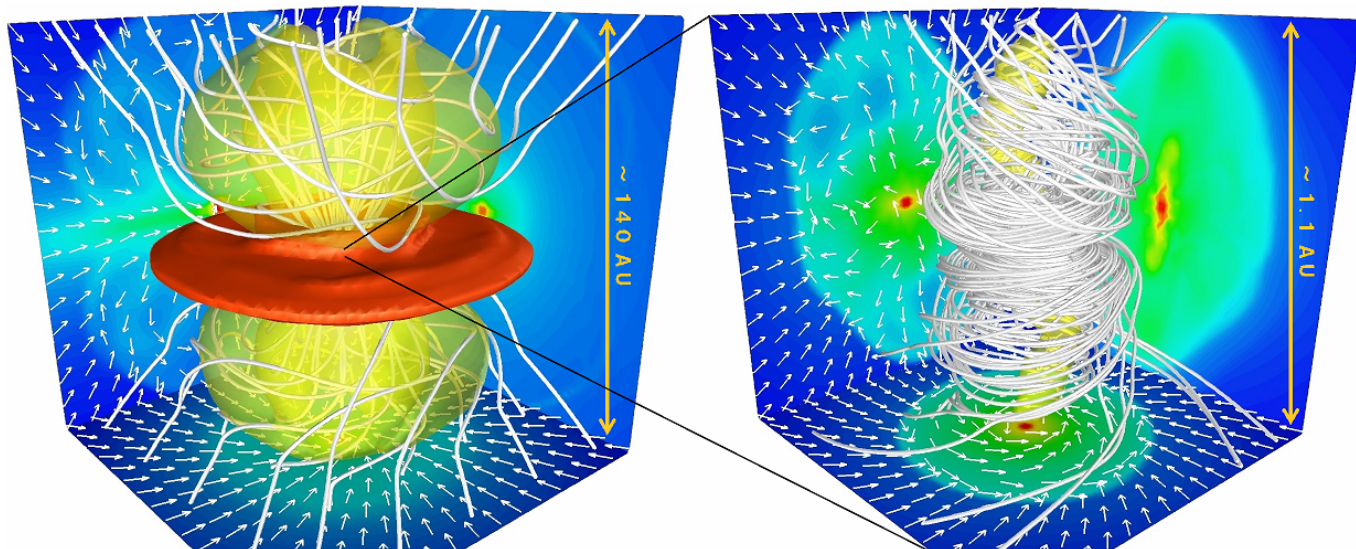
(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

【日 時】 1月22日(金) 14:40～16:10

【場 所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

講演者：富田 賢吾 (宇宙地球科学専攻 宇宙進化グループ)
タイトル： 計算機の中に星を作る

数値シミュレーションは理論・観測と並ぶ宇宙物理学研究の重要な柱である。特に宇宙物理学は物理学の他分野に比べ実験が困難で観測にも再現性が必ずしもないため、数値シミュレーションの占める役割は大きい。ここでは星形成過程の研究を例に取り、これまでどのように原始星やその周囲の原始惑星系円盤の形成や進化の研究が発展してきたか、そして惑星形成まで含めた統一的理論モデルの構築に向けた展望について説明する。また近年アタカマ大型ミリ波サブミリ波望遠鏡(ALMA)の稼働により原始星や原始惑星系円盤形成の現場が直接観測できるようになり、大きく進展しつつある観測的研究の最先端も紹介する。合わせて宇宙進化グループで行われている宇宙規模での構造形成、銀河形成や高エネルギー宇宙物理学の研究についても紹介したい。



物理談話会(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

<http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/ja/grad/rinkou.html>